

予算審査特別委員会の質疑

令和3年度予算案を審査するため、予算審査特別委員会を設置し、委員長に藤岡浩文議員、副委員長に大野敬議員を選出し、3月10日から2日間に渡り審査を行いました。

特別委員会での質疑応答の主なものは次のとおりです。

【質問】 通報業務の一元化による深川消防署負担金の増額の根拠について

【答弁】 深川消防署が整備した高機能消防司令システム、統合型位置情報通知装置の維持・管理の費用を深川市、妹背牛町、秩父別町の負担として増額しています。このシステムの導入により、救急車の出動が従来より早くなり、秩父別町の救急体制が素早く取れる利点があります。

【質問】 自主防災組織の現在の数について

【質問】 ローズガーデン駐車場北側に造成を計画している「ドッグラン」の規模、設備、管理体制について

【答弁】 26メートル×40メートルで約1千平方メートルになります。柵の中は芝と一部ダスト舗装とし、柵は雪による倒壊を防ぐため、強固な作りとする予定です。施設利用は無料とし、管理人はおきませんので、利用者が譲り合って利用いただけると思います。また、芝の管理は、ローズガーデンの管理者に委託する予定です。



ドッグラン造成予定地
(高規格道路秩父別PA入口)

【再質問】 ドッグランは、ローズガーデンへの誘導策の意味合いを兼ねているよ

【答弁】 現在、東栄町内会、南町内会、筑紫町内会の3つの組織があり、その他に中央西町内会の一部地域で活動中です。また、西栄町内会が令和3年度中の設立を検討しています。

【質問】 北空知圏公共交通計画策定支援業務について

【答弁】 北海道が中心となり、4町で、地域にとって最適な交通手段を調査・検討し、サービスの提供を確保する計画を立てるものです。



【質問】 空き家解体費と住宅除却費の違いについて

【答弁】 空き家解体費とは、所有者が確認できなく、住民等に危険が及ぶものについて、町が代執行を行うものです。住宅除却費は、所有者自らが建物を解体する費用の一部を助成するものです。

【質問】 地域おこし協力隊の今年度の人数について

【答弁】 令和3年3月現在2名在籍で、3月末で1名が任期を終えます。令和3年7月に1人が加わる予定です。

【質問】 ふるさと納税の返礼品の追加について

【答弁】 ふるさと納税の返礼品の条件として、総務省が定める地場産品基準がありますので、それに適合する返礼品の追加を今後検討してまいります。

【質問】 産後継者等育成推進協議会への交付金を昨年の60万円から37万8千円に減額した理由について

【答弁】 協議会の下に実際に活動するアドバイザー組織がありました。新年度から組織を一本化し、農業体験実習生の受け入れなど花嫁対策を効率的に行います。事業費は、繰越金や、北いぶき農協等の負担もあり、必要な額は確保しています。

【質問】 町営住宅の洗浄便座への取り替えについて、新年度以降の計画は

【答弁】 今年は4棟を取り替える予定です。今後平成11年度以降建設された町営住宅等の便座を3ヶ年程度で取り替えを行います。

【質問】 スーパー秩肥を製造しているコンポスト施設の廃止を検討しているが、廃止後の汚泥の処理について

【答弁】 肥料は、令和3年度は製造販売します。国道から廃止の許可が出た段階で手続きを進め、廃止後

【質問】 障害者施設の補助及び施設概要について

【答弁】 今回三棟目の建設として、上限を二千万円とする建設費の補助を予定しています。施設概要は、一棟の定員が10名で、この増築により計30名の入所が可能となります。従業員は26名中12名が町内在住者です。

【質問】 鳥獣被害対策実施隊員について

【答弁】 令和2年度は鹿の出没が非常に多く、捕獲頭数も前年の倍になったことから、令和3年度は隊員を2名から4名に増やし、併せて生態調査や捕獲方法などの助言をもらう予定としています。

【質問】 カラス対策について

【答弁】 現在46名に町から駆除の許可を出しており、その内4名が町内で、ほかは北海道電力の職員です。畷等については、猟友会とも相談しながら検討したいと考えています。また、旧車両センターゴミステーションのカラス対

策として、ネットを活用する方法に対し予算を計上しています。



カラス対策が施された旧車両センターゴミステーション

【質問】 アライグマの箱鼠設置について

【答弁】 設置には資格が必要で、役場に連絡していたら、箱鼠を設置しますし、アライグマは外来種のため、資格を持つ町職員が回収し処分します。

【質問】 認知症総合事業費の認知症初期集中支援チームについて

【答弁】 地域で認知症の疑いがある方を支援する組織です。認知症疾患の臨床診断や継続的な医療を受けていない方を対象に、認知症疑いのある方に対し、医師等を調査のため派遣して状況を判断するものです。

の汚泥は、北空知衛生センターへ搬入する予定です。

【質問】 「つばめの教室」の具体的な内容について

【答弁】 現在は「夢の教室」ということで、アスリート中心でしたが、令和3年度は、国際感覚を身に付けてもらえるような内容を検討しています。次年度以降は、いろいろな職業の方の講演をいただくことを考えています。



【質問】 令和2年度は小中学校とも確保できなかった学習支援員の令和3年度採用の目的について

【答弁】 退職教員等に打診をしていますが、確保できていないため4月以降もハローワークで募集をします。

